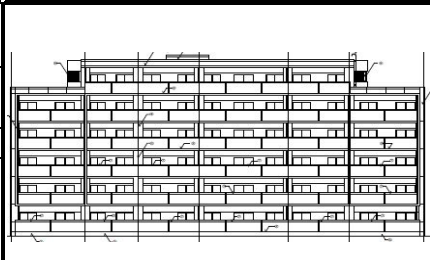


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	平成29年度公営住宅(弥永住宅)	階数	地上6F
建設地	福岡市南区弥永団地 44-3外	構造	RC造
用途地域	一種中高層住居	平均居住人員	106 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年12月15日
敷地面積	5,135 m <sup>2</sup>	作成者	蔵原佳代子
建築面積	505 m <sup>2</sup>	確認日	2017年12月15日
延床面積	2,169 m <sup>2</sup>	確認者	吉永 拓郎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>室内環境、敷地内環境、敷地外環境に配慮を行っている。</li> <li>省エネルギー性能に配慮している。</li> </ul>		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>住居部の光・視環境への配慮がされている。</li> <li>シックハウス対策が計画されていて、良質な室内環境の配慮がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居室の天井高さを十分に取り、快適な性能に配慮している。</li> <li>給排水配管等は良質な素材を採用し、永く使用できるように配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住者及び周辺地域に配慮した緑地計画を適切に行っている。</li> <li>落葉樹を植栽して、季節の変化が感じられるように配慮されている。</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>LED照明等の高効率設備機器を採用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水型水栓、節水型便器の採用など、節水に配慮している。</li> <li>リサイクル材の使用をして再資源の活用に貢献している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内に適切な駐輪場及び駐車場の確保をして交通負荷抑制に努めている。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される